

兵庫県下でのイトヒゲニセマキムシの採集例

(兵庫県甲虫相資料・154)

高橋寿郎

イトヒゲニセマキムシ *Dasycerus japonicus* Nakane, 1963 は兵庫県篠山で中根猛彦博士が採集(28-Ⅳ-1952)された標本に基いて新種記載されたものである(Frag. Coleop. pars. 5:22, 1963)。同時に同博士は原色でも図説された(原色昆虫大図鑑, 第2巻, pl.36, f.2, p.71, 1963)。最近多比良嘉晃氏は静岡県下での採集記録を発表された(静岡の甲虫, 第2巻, 第1号, p.17-18, 1983)。その中で本種の日本での採集例の記録をまとめておられる。

兵庫県下では原記載の産地以外全く記録が無いが筆者は相生市三濃山で採集した標本6 exs. (1 ex., 28-Ⅳ-1974, 1 ex., 12-Ⅴ-1974, 1 ex., 18-Ⅴ-1974, 3 exs., 29-Ⅶ-1974)を所有しているので此処に県下での二番目の記録として紹介しておきたい。

採集状況は残念ながら余りはっきりおぼえていない。多比良氏も記しておられるように本種は可成り分布の広い種のようにで微少なため見落されていると思われる。県下にも他に産地は恐らく多くあることゝ考えられる。多比良氏は枯朽木樹皮下等にいる種のようにだと記しておられる。

(1985年2月)

兵庫県産二種のハムシの記録

(兵庫県甲虫相資料・155)

高橋寿郎

○ オオサルハムシ *Chrysochus chinensis* Baly

余り小さくないハムシなのであるがどうしたわけか兵庫県下からの記録は古く Heyden の Hio-go (1879) と言うのがありのと山本義丸氏の氷上郡黒井町(1953, 1958)が知られているだけでその後記録が見られない種である。1984年加東郡東条町森地域で蜂谷幸雄氏と一緒に環境調査に出かけた際蜂谷氏が 1 ex. (22-Ⅷ-1984) 採集されたので此処に記録しておきたい。

本種の食草はイヨカズラ・サツマイモが知られているし、分布も割合広いようなので調査をすれば県下の産地はもっと見つかると思う(標本蜂谷氏保管)。